

素敵な人生 素敵なパートナー



市男女共同参画
推進懇話会会長
佐藤 文子

第5期合志市男女共同参画推進懇話会会長になりました。よろしく願います。

今期の委員は男性7人、女性10人の合計17人で、各種団体の代表、学識経験者、市長推薦者、一般公募者で構成されています。本市の男女共同参画都市宣言にもあるように、「誰もが心豊かに活力に満ちた社会の実現」を目指して活動しています。

近年は、市や歴代委員の啓発活動により「男女共同参画」という言葉が定着し、市民の皆さんの意識も高まってきたように思います。しかしその一方、市が行なった市民意識調査では、「男女共同参画社会が推進されてきたと思う

か」という設問に対して半数以上が「思わない」・「分からない」と回答し、まだまだ啓発活動が必要であるとも感じています。

明日をつくるのは大人の責任です。子どもは大人の後姿を見て育ちます。相手と向き合うことは自分にお返しができることであり、さらに家庭から地域へと絆を深めるようになれば、家庭が豊かになるでしょう。

価値観が多様化している社会だからこそ、男女を問わず人の役に立つことや相手を理解することに努めることが大切です。時には寛容や忍耐も試されるかもしれませんが、適材適所、やれる人から、やれるところから、成熟した社会へ向けて一歩ずつ進んでいかなければならないと思います。

既に、今期の新委員の間では活発な論議が交わされており、男女共同参画社会へ向けた取り組みを進めているところです。市民の皆さんにおかれましても、ご助言やご協力をよろしくお願いします。

よみ人こうし

「須屋俳句会 井芹 眞一郎 選」

なほ昼も点る外灯木下闇	眞一郎
夏帽子リボンの柄で運びけり	邦雄
さくらんぼ一家団欒ありし頃	規子
梅天をものともせずにくくところ	美和子
水あをし風またあをし河鹿の瀬	美代子
その中に風の道あり菖蒲園	千代子
時鳥雨にも負けず鳴渡る	雅子
軽鴨の子の水尾を引く速さかな	恵美子
立葵まだまだ伸びる勢ひあり	浩子
日輪を乗せて浮葉の定まれり	立身
最高のもてなし雨の額紫陽花	保子
花合歓やまた遠くなる母の顔	頼美

合志川柳同好会 理石 整理

資源欲弱みもないがつけこまれ	伸也
未遂なのに弱みになった恋メール	翠石
カラオケに弱く反省会は次	一郎
誘われて飲み屋へ走るその弱さ	俊之
弱点を捜し課題にするチーム	浩二
見よがしに家計簿出され言い出せぬ	賢治

難病を抱え弱みをはかぬ友	靖子
悪友に弱みにぎられ苦勞する	竹泉
新郎の弱みも突いてくる祝辞	朝子
そんな時妻が持ち出すラブレター	理石
飼犬も俺の弱みを知っている	征二
他人には弱みを見せぬ意地をはり	千夜子
人の弱みそつと庇ってくれた人	輝子

若葉・仔馬句会 西村 泰三 選

古民家の戸の鍵錆びて老鶯なく	ミツ子
煙立つ霊場の見えて墓参り	むつ子
瀬戸を行く巡視船の灯涼しかり	むつ子
峠越ゆたちまち霧の迫りくる	ちづえ
夕焼けや島島つなぐ橋を染め	ちづえ
木漏れ日や溢れんばかり蟬の声	ちず子
乙女らの胸の眩しき衣替	しろう
語りつぐ戦争体験遠花火	チズエ
エブロンをひろげて貰う大西瓜	チズエ
幼子の片言で読む星祭	浩子
稲妻の照らし出したる野の牛舎	トヨ子
色褪せし父の文読む終戦日	トヨ子



人権教育シリーズ②②

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

合志南小学校の取り組み

「子どもの笑顔が輝く活気ある学校を目指して」

校内人権集会

合志南小学校では、一人ひとりを大切にする校内人権集会を学期に一回ずつ実施しています。1学期は、6月に全校児童による人権集会を行ないました。集会では、児童会代表が今年のスローガンを紹介し、皆で決めた目標に向かって心を一つにがんばろうと呼びかけました。

今年のスローガン
一人ひとりが助け合い、
えがおでつくる友情のわ

続いて、各学年の代表が、人権について学習したことや自分の思いについて述べました。

一年生は、「にこにこがお」「ぷんぷんがお」「しくしくがお」などの「かお」について勉強しました。皆、いろんな顔をするけど、皆が「にこにこが

構成詩「ナガサキから学ぶ 平和への願い」 ～戦争のない世界をつくるのはわたしたち～

戦争のない世界をつくるために わたしたちは考えました
戦争は、大切な家族の命を奪っていく
戦争は、大切な友だちの命を奪っていく
戦争は、たくさんの人の暮らしや未来を奪っていく
人の心を変え、笑顔をなくしてしまうのが戦争
人と人との絆を切ってしまうのが戦争
なぜ、人間は戦争をするのだろう
戦争を起こすのは、わたしたちの心なのだと知りました
自分さえよければいい、という考えがありました
相手のことをよく知ろうとせず、決めつけて見ていました
友だちの注意を素直に聞けない自分
人によって態度を変えてしまう自分
友だちの嫌がることを言うてしまう自分
おかしいと思っても、友だちに言えない自分
戦争は、生きる権利を奪い、
人と人とのつながりをきってしまうもの
1945年8月9日長崎の地に落とされた原子爆弾
おじいちゃんやおばあちゃん。お父さんやお母さん
たくさん子どもたちの夢も未来も奪われてしまいました
私は、家族や友だちのいない生活なんて考えられません
わたしたちは、同じ過ちを繰り返してはいけない
戦争を繰り返さないようにするのは、わたしたちです
この長崎の地で、見て、聞いて、感じたことを忘れません
平和への願いを伝えるのは、わたしたちです
わたしたちは、語り合い、見つめあう中で、共に考え、一緒に歩むことを知りました
いまもなお、国と国との争いが起きようとしています
わたしたちは、互いのことを知り合い、自分のことも、友だちのことも大切にすることが、戦争をなくすことだと思います
わたしたちは、この日この場所での誓いを忘れません
2013年10月3日 合志南小学校6年生一同



長崎市の平和公園で黙とうをささげる子どもたち